
2023年3月期第1四半期決算説明資料

2022年8月

稲畑産業株式会社

売上高： 1,840億円 対前年同期比 **+ 13.2%**

原材料の販売価格の上昇や円安が寄与し、増収

営業利益： 53億円 対前年同期比 **△ 4.7%**

物流費など販売費及び一般管理費の増加により、減益

経常利益： 53億円 対前年同期比 **△ 16.4%**

営業利益の減少や営業外費用の増加により、減益

親会社株主に帰属する
四半期純利益 : **45億円** 対前年同期比 **△ 42.8%**

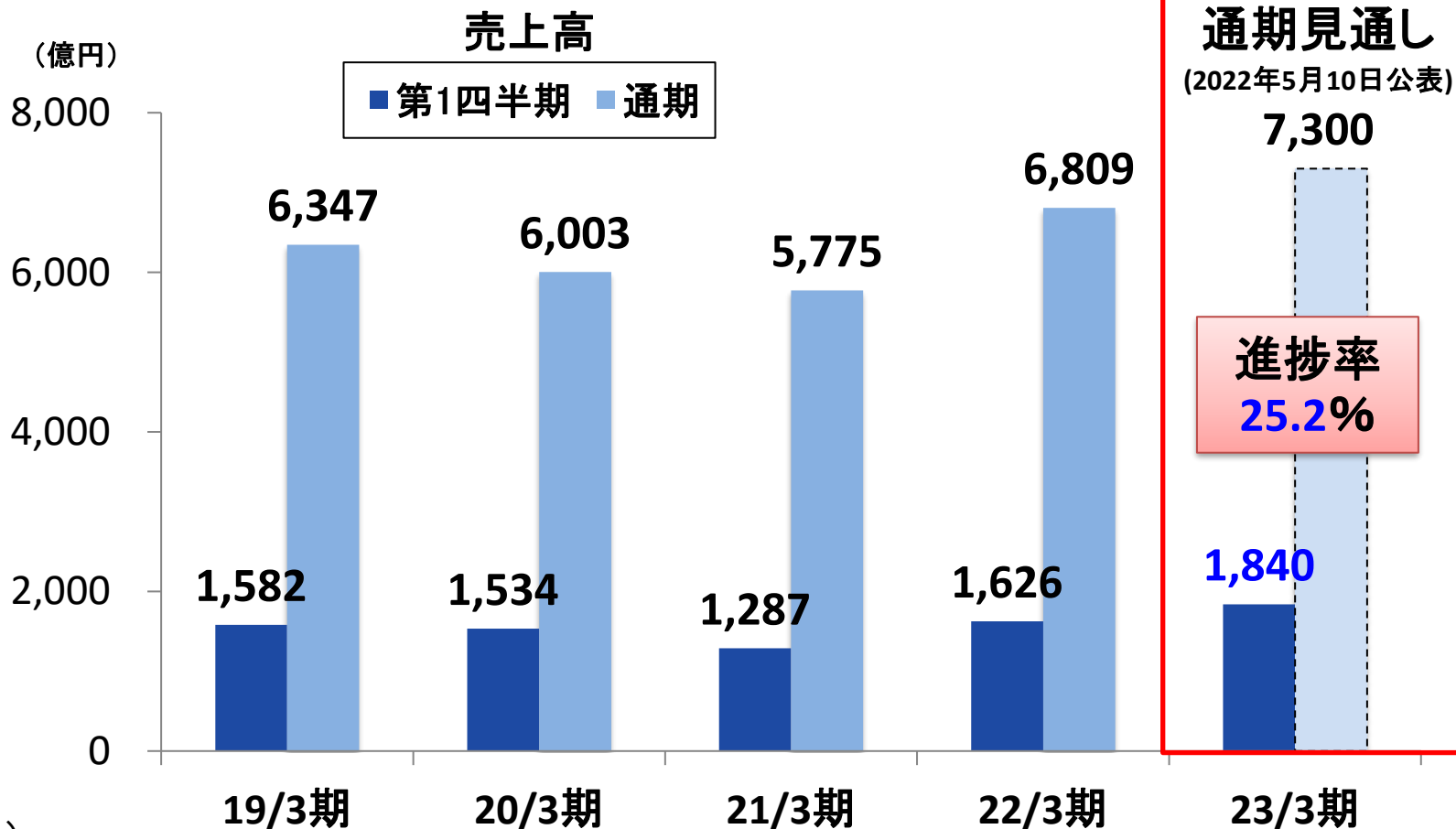
経常利益や投資有価証券売却益の減少等により、減益

2023年3月期 第1四半期 連結決算総括

(億円)

	22/3期 第1四半期	23/3期 第1四半期 (A)	対前年同期比増減		2022年5月10日 公表 通期見通し	達成率 (A)/(B)
			金額	%		
売上高	1,626	1,840	+214	+13.2%	7,300	25.2%
営業利益	55	53	△2	△4.7%	195	27.4%
経常利益	64	53	△10	△16.4%	205	26.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	79	45	△34	△42.8%	205	22.2%
為替レート USD/円	109.52	129.73	+20.21		120.00	

売上高の推移



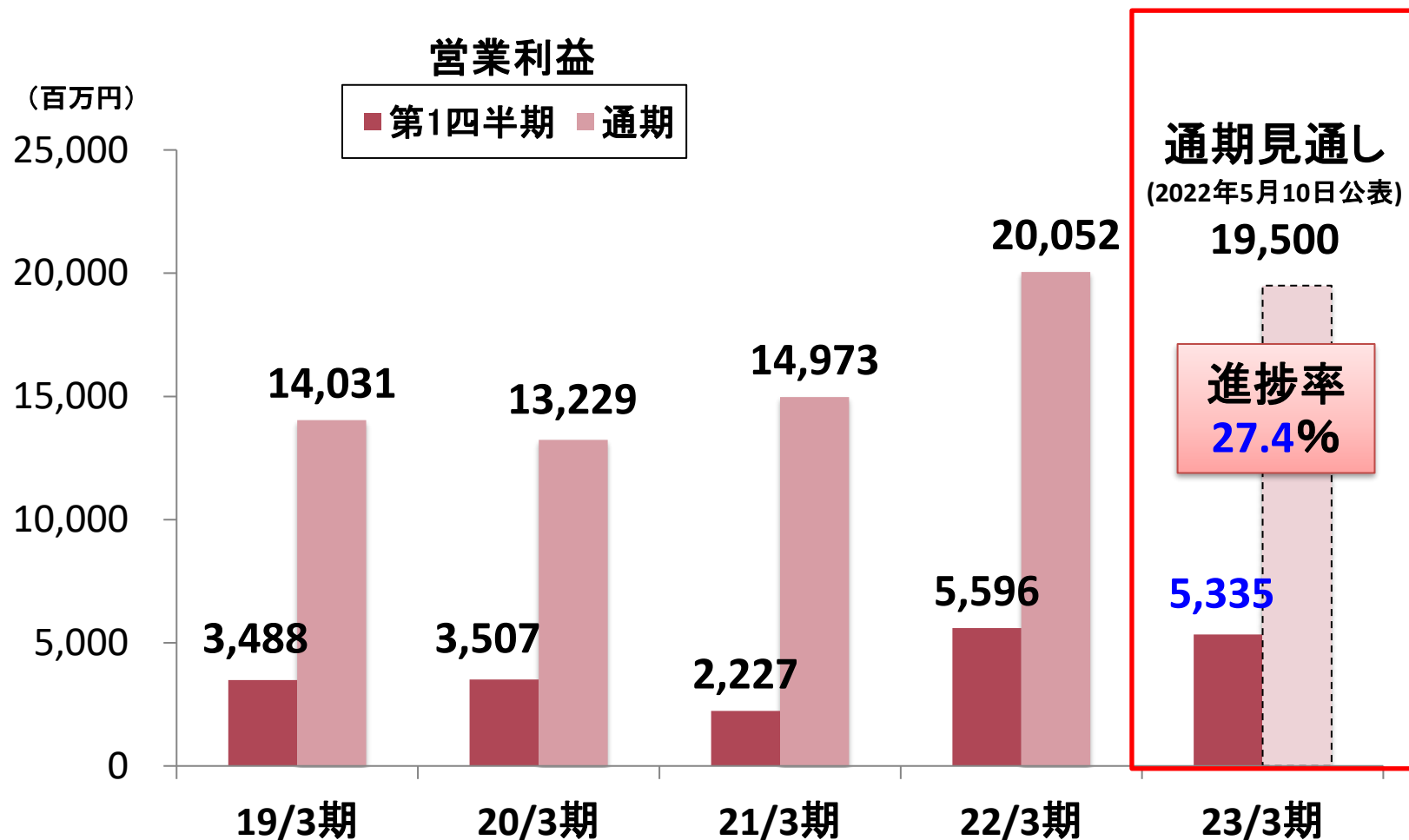
(参考)

		19/3月期	20/3月期	21/3月期	22/3月期	23/3月期
為替レート USD/円	第1四半期	109.10	109.90	107.63	109.52	129.73
	通期	110.92	108.70	106.10	112.39	(注) 120.00

※22/3期1Qから、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。

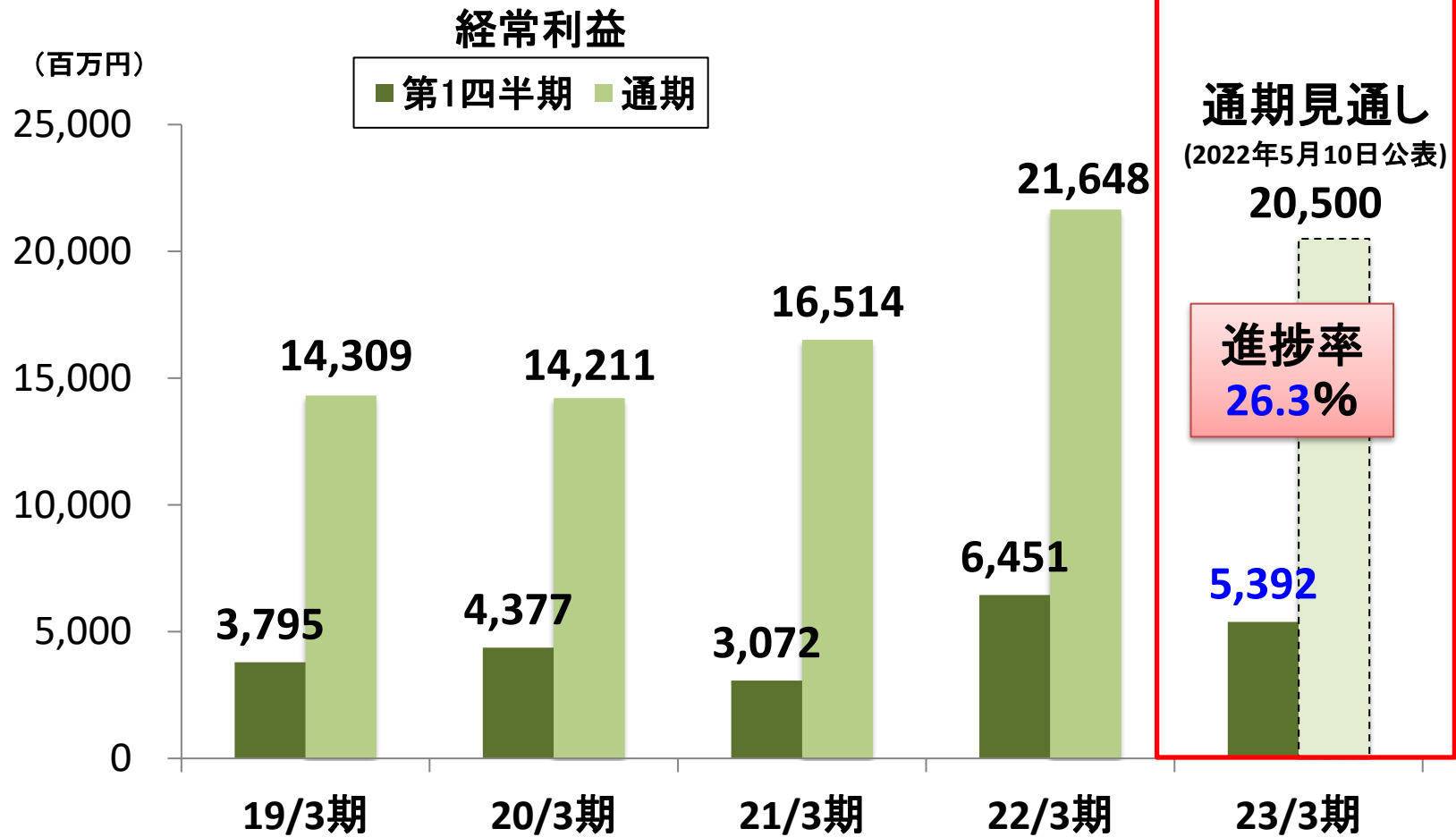
(注)公表時での想定

営業利益の推移

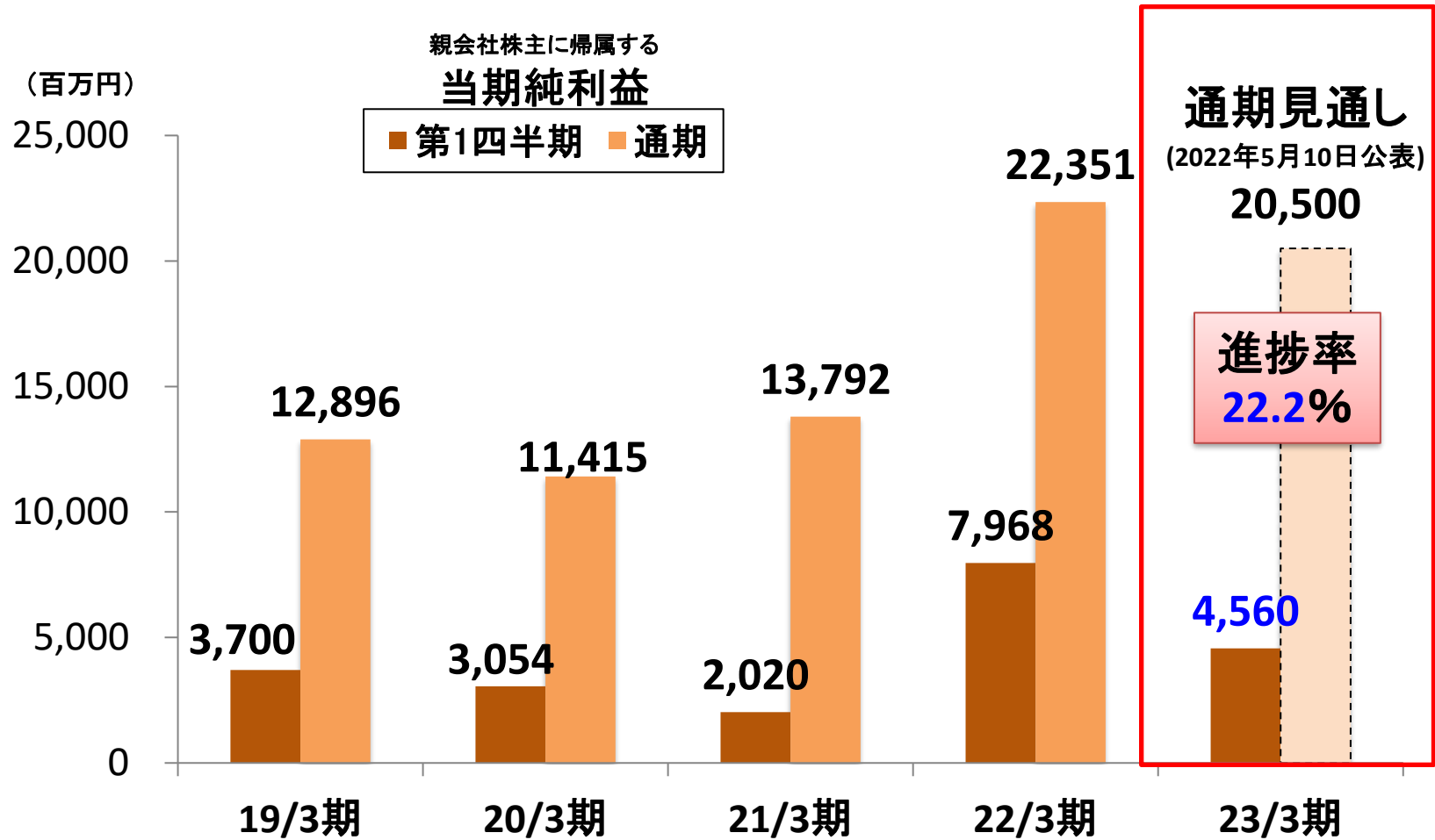


※21/3期 欧州子会社において貸倒引当金の戻入を計上 通期 7.5億円

経常利益の推移



親会社株主に帰属する当期純利益の推移



※投資有価証券売却益を計上: 19/3期 51.1億円、20/3期 30.3億円、21/3期 29.8億円、22/3期 89.7億円
19/3期1Q16.6億円、22/3期1Q 46.6億円、23/3期1Q 14.9億円

B/Sサマリー

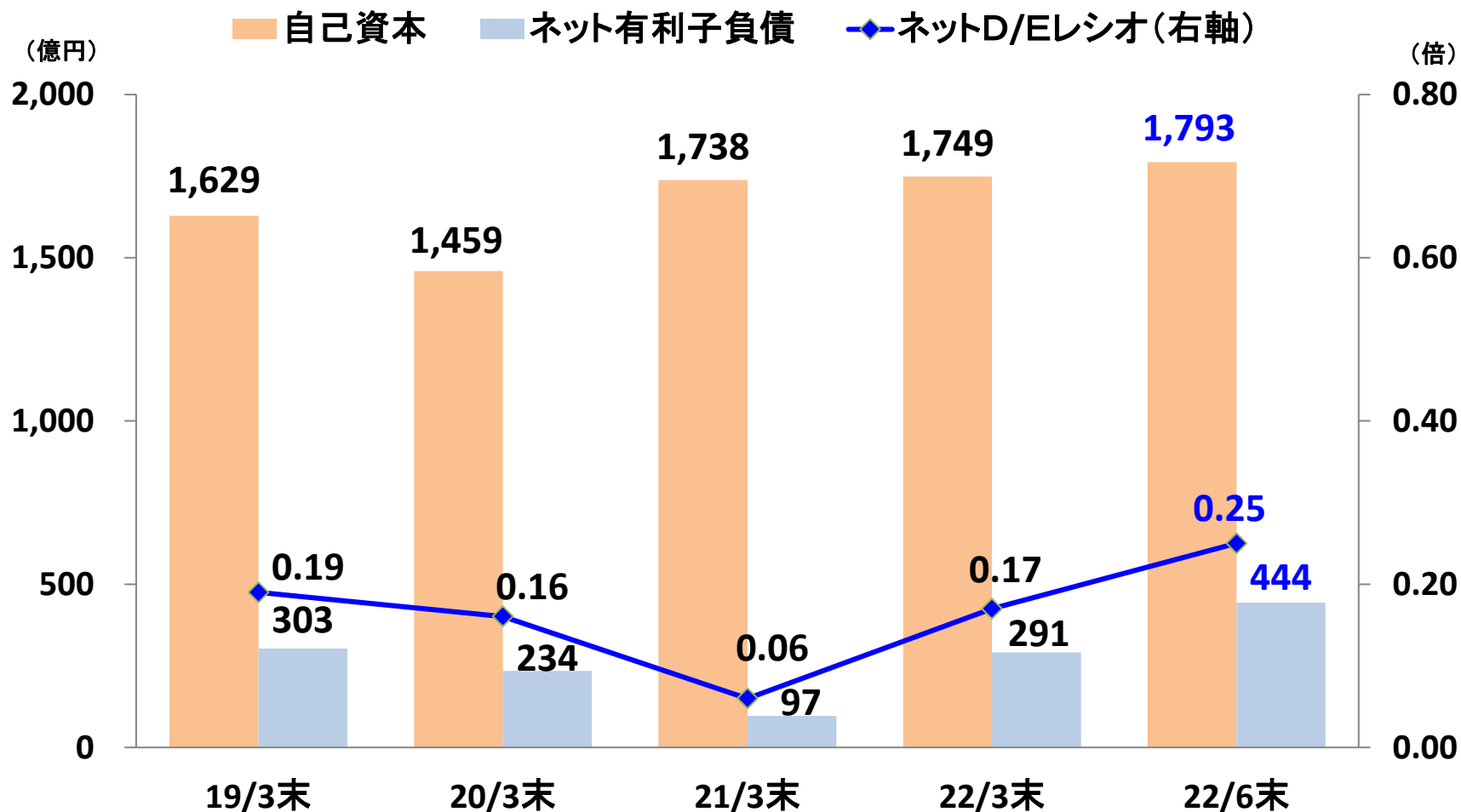
- ・主に円安の影響により在外子会社等の売上債権、棚卸資産、借入金等が増加
- ・保有株式の売却や時価の下落により投資有価証券が減少

(億円)

(資産)	22/3末	22/6末	増減	(負債/純資産)	22/3末	22/6末	増減
現金及び預金	354	285	△68	支払手形及び買掛金	1,159	1,127	△31
受取手形及び売掛金	1,846	1,904	+57	短期借入金	586	669	+82
棚卸資産	790	928	+138	その他流動負債	185	169	△16
その他流動資産	123	127	+3	長期借入金	58	60	+1
有形固定資産	153	164	+11	その他固定負債	130	125	△5
無形固定資産	26	25	△0	株主資本	1,395	1,392	△3
投資有価証券	483	412	△70	その他の包括利益累計額	353	401	+48
その他固定資産	112	117	+4	非支配株主持分	19	19	△0
資産合計	3,890	3,966	+75	負債純資産合計	3,890	3,966	+75
流動比率	161.2%	165.1%		自己資本比率	45.0%	45.2%	

※受取手形及び売掛金: 22/3末 受取手形 225億円、売掛金 1,621億円
22/6末 受取手形 235億円、売掛金 1,668億円

自己資本・ネット有利子負債・ネットDER推移



※ 自己資本＝純資産－新株予約権－非支配株主持分
ネットD/Eレシオ＝(有利子負債－現預金)/自己資本

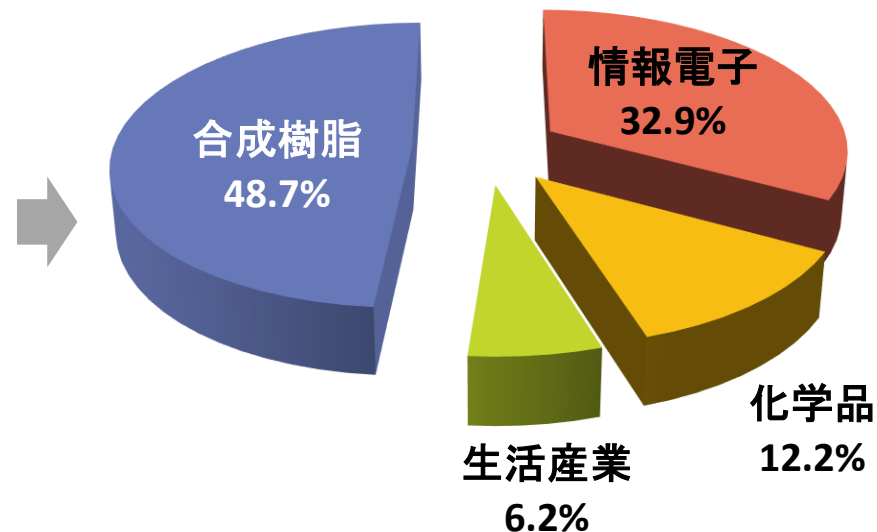
事業セグメント別 売上高

✓ 合成樹脂事業や化学品事業は、円安や原材料価格の上昇により増収

売上高

(億円)

	22/3期 第1四半期	23/3期 第1四半期	前年同期比 増減率
情報電子	610	604	△1.0%
化学品	177	225	+26.9%
生活産業	98	113	+15.0%
合成樹脂	739	896	+21.3%
その他	0	0	+1.6%
合計	1,626	1,840	+13.2%



(億円)

	情報電子	化学品	生活産業	合成樹脂	その他	合計
日本	226	153	78	287	-	745
東南アジア	43	26	0	398	-	469
北東アジア	283	17	1	167	-	469
米州	33	17	27	34	-	113
欧州	17	10	5	9	-	42
顧客との契約から 生じる収益	604	225	113	896	-	1,840
その他の収益	-	-	-	-	0	0
外部顧客への 売上高	604	225	113	896	0	1,840

※顧客との契約から生じる収益は、販売元の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

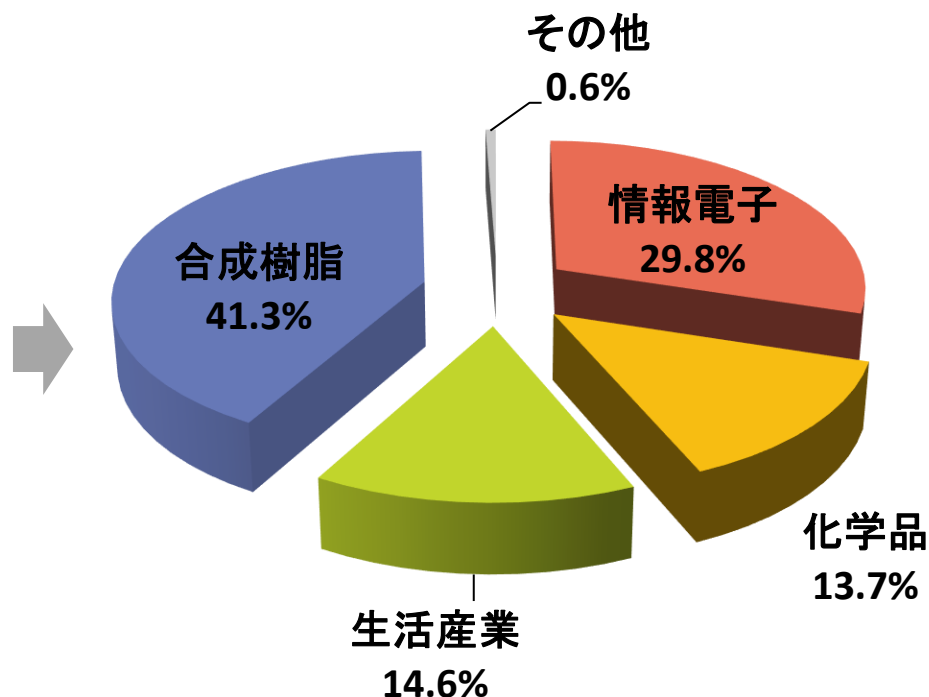
事業セグメント別 営業利益

- ✓ 化学品事業は、円安や販売価格の上昇に加え、ビジネスの堅調により増益
- ✓ 情報電子事業は、フラットパネルディスプレイ関連の販売が減少
- ✓ 合成樹脂事業は、自動車の減産や経済活動抑制の影響、物流費の高騰により減益

営業利益

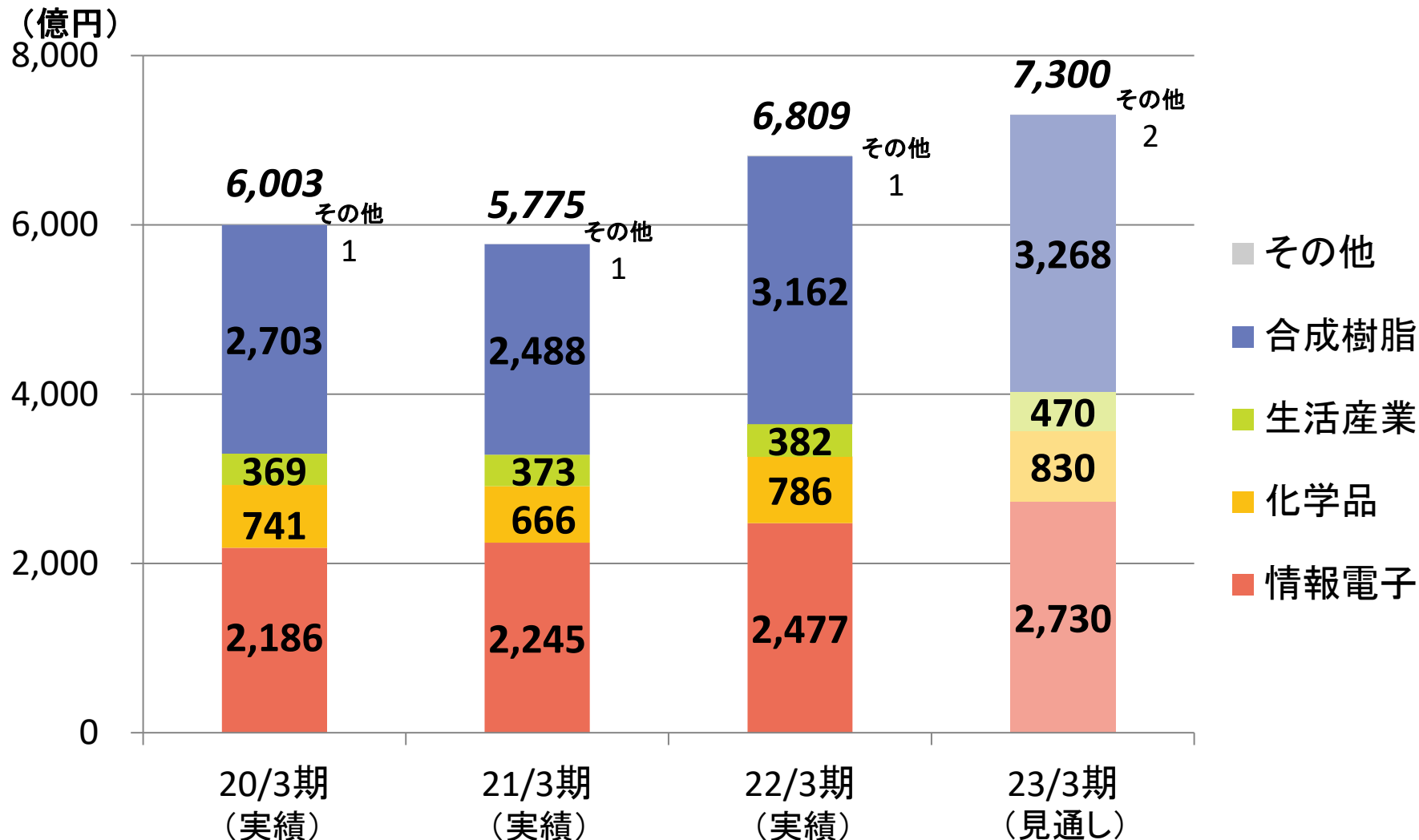
(百万円)

	22/3期 第1四半期	23/3期 第1四半期	前年同期比 増減率
情報電子	1,857	1,592	△14.3%
化学品	518	731	+41.1%
生活産業	788	776	△1.5%
合成樹脂	2,399	2,203	△8.2%
その他	32	31	△3.5%
合計	5,596	5,335	△4.7%



事業セグメント別 売上高(通期)

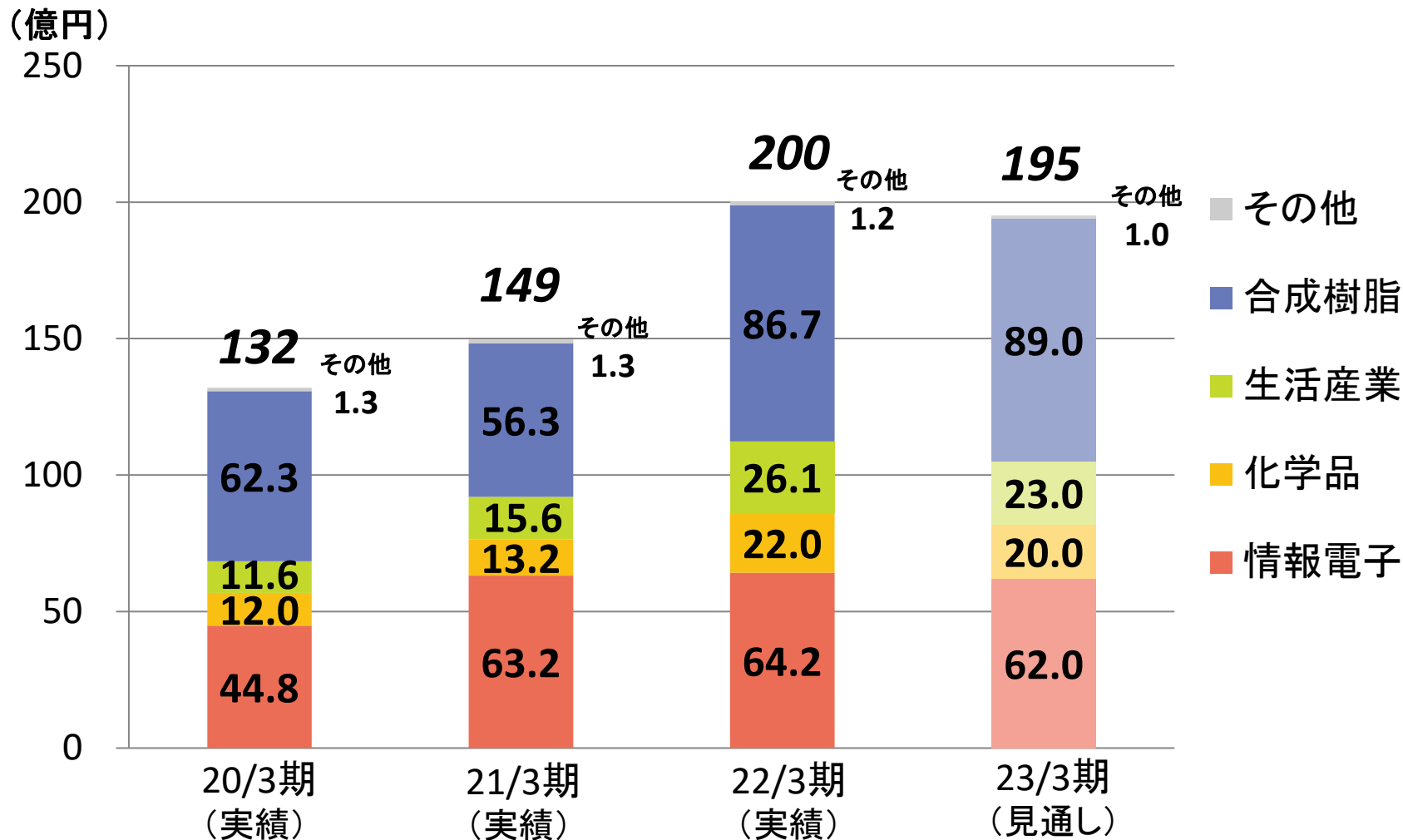
✓23/3期事業セグメント別見通しは、期初から変更なし



※22/3期(実績)以降は、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等適用後の売上高を表示しています。

事業セグメント別 営業利益(通期)

✓23/3期事業セグメント別見通しは、期初から変更なし



利益還元の方針

中期経営計画NC2023の期間中、

■ 累進配当

一株当たりの配当額については前年度実績を下限とし、減配は行わず、継続的に増加させていくことを基本とする。

■ 総還元性向の目安としては概ね50%程度

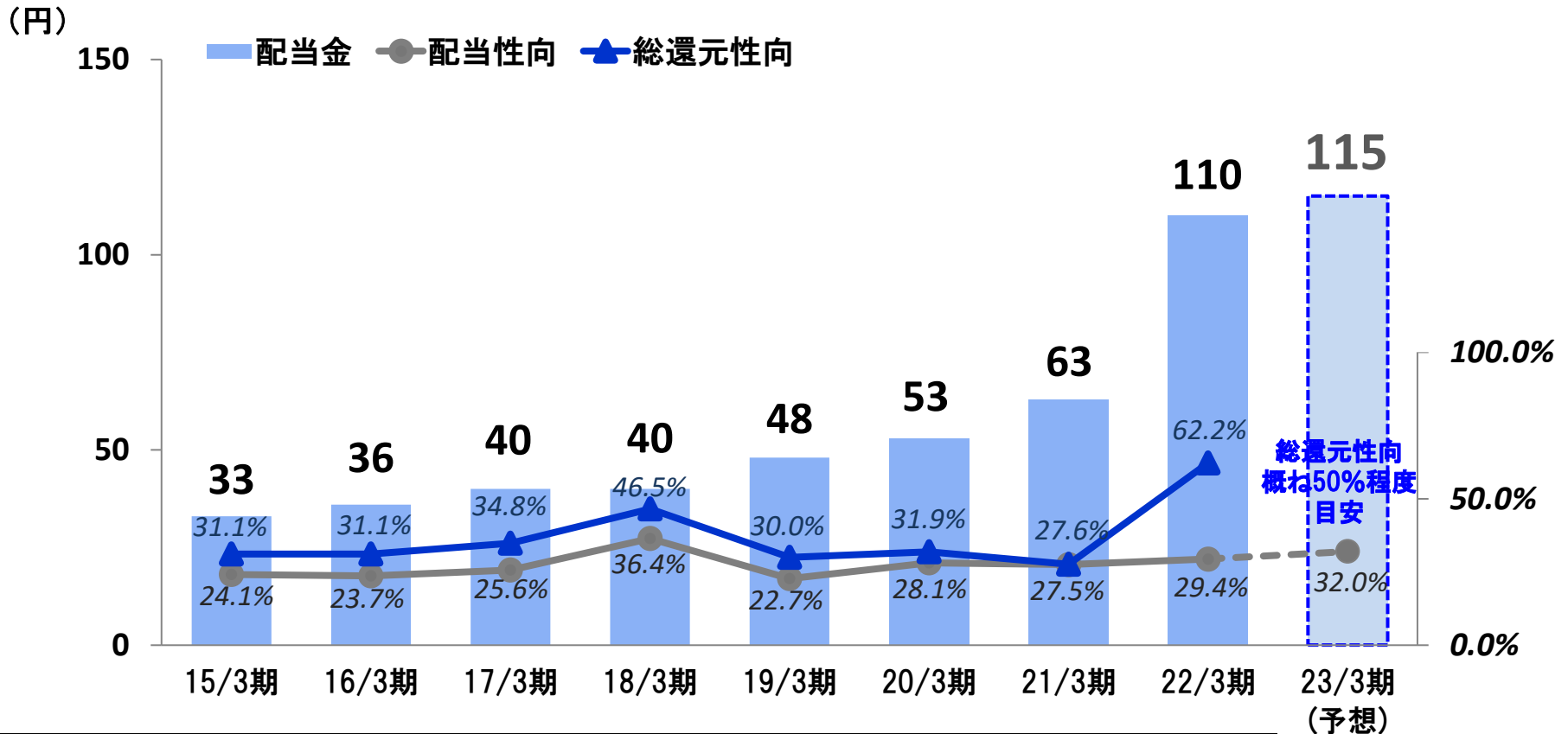
ただし、政策保有株式を売却し、相当程度のキャッシュインが発生した事業年度においては、今後の資金需要や会社の財務状況、株価、マーケットの状況などを総合的に勘案し、上記の総還元性向の目安には必ずしもとらわれずに、株主還元を実施する。

[参考]自己株式取得 (2022年8月5日開示)

取得対象株式	: 普通株式
取得株数	: 600,000株 (上限)
株式取得額	: 2,000百万円 (上限)
取得期間	: 2022年8月24日～10月31日

株主への利益還元②

1株当たりの年間配当金と株主還元指標の推移



	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期
自己株式取得額 (百万円)	604	707	891	679	936	425	—	7,499

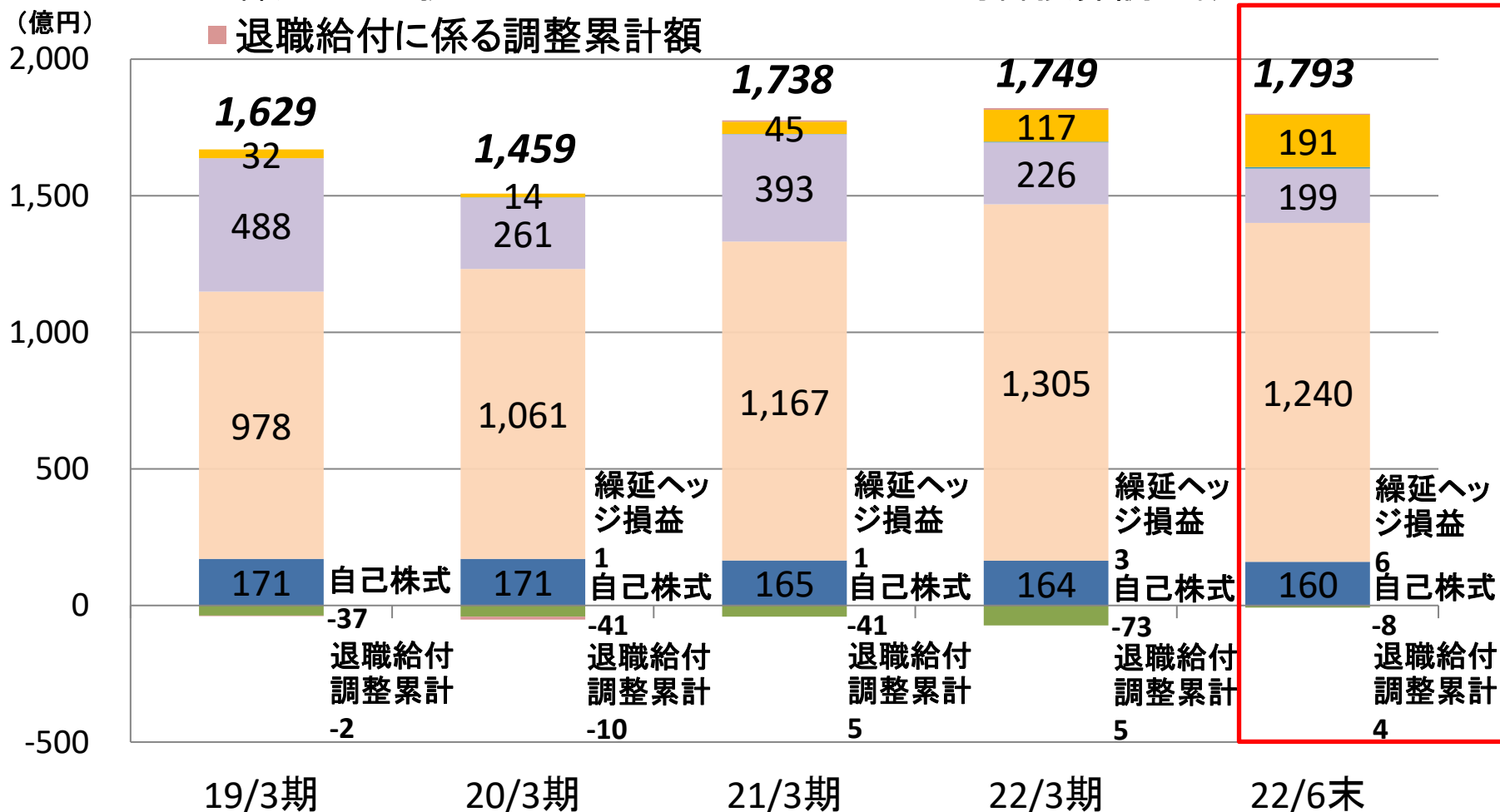
※2022年8月5日開示：自己株式取得 600,000株(上限)、2,000百万円(上限)、期間2022年8月24日～10月31日

連結子会社等の状況

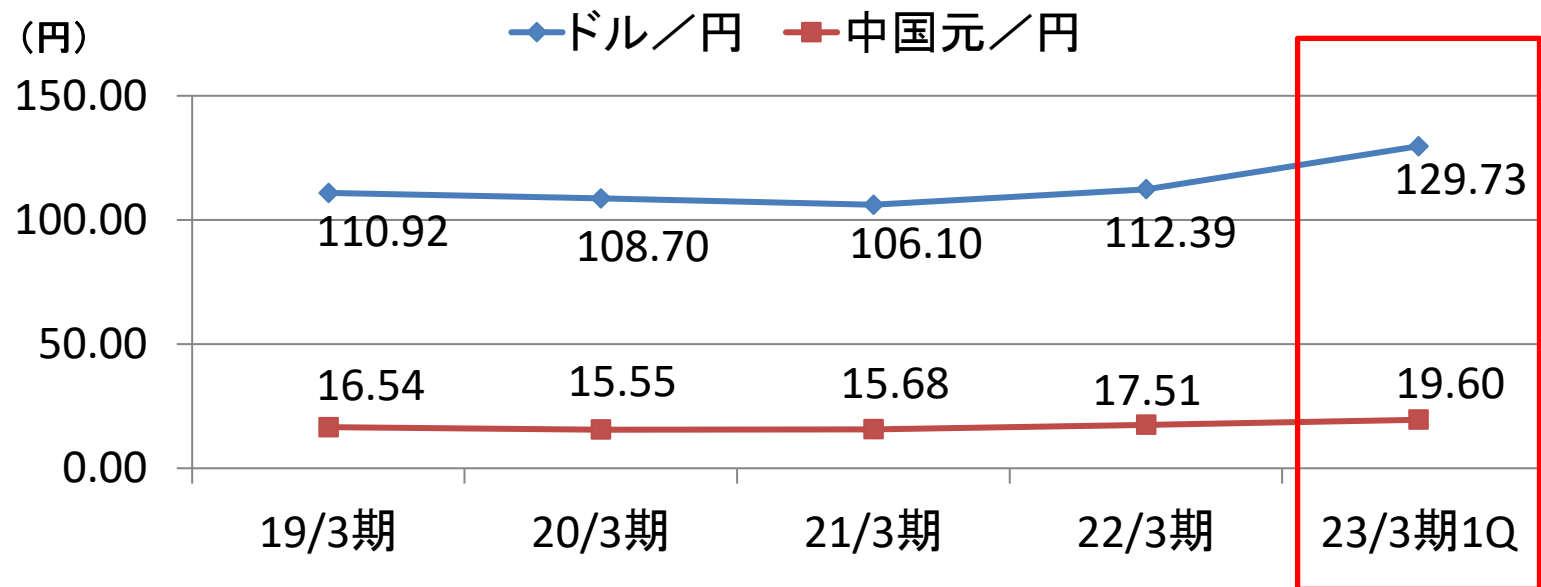
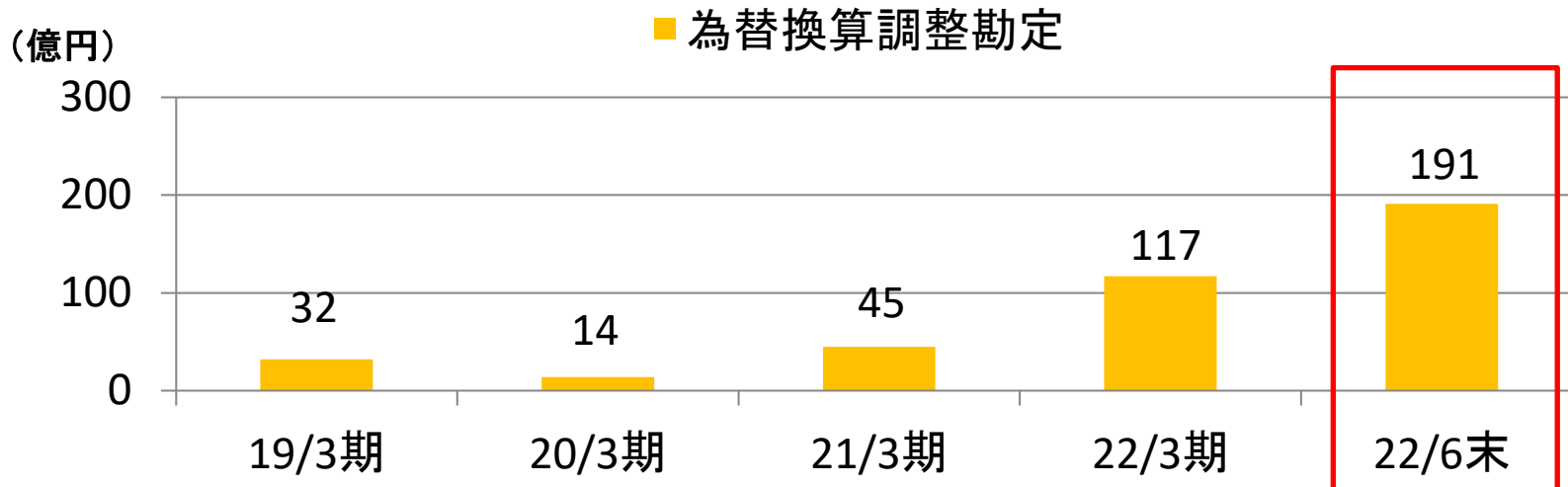
	社数		
	国内	海外	合計
連結子会社	7	36	43
(内 製造・加工業)	(5)	(16)	(21)
持分法適用関連会社	4	1	5
(内 製造・加工業)	(2)	(1)	(3)
合計	11	37	48
(内 製造・加工業)	(7)	(17)	(24)

(参考) 自己資本の推移

- 資本・資本剰余金
- 自己株式
- 繰延ヘッジ損益
- 退職給付に係る調整累計額
- 利益剰余金
- その他評価差額金
- 為替換算調整勘定



(参考) 為替変動による為替換算調整勘定への影響



□ IRに関するお問い合わせ先

稲畑産業株式会社 財務経営管理室 IR企画部

E-mail inabata-ir@inabata.com

◆将来の見通しに関する注意事項

本資料にて開示されているデータおよび将来に関する予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものです。これらのデータや将来の予測は、不確定な要素を含んだものであり、将来の業績等を保証するものではありません。

◆数値の表示に関して

資料内の億円単位、百万円単位の数値は、それぞれ億円未満、百万円未満を切り捨てておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。